

維新動乱期の嘉永六年から昭和七年の第一次上海事変まで、
近代日本の行った戦争と戦没者の記録。

日本近代史・軍事史や戦没者慰霊などの研究のための基本図書。

靖国神社忠魂史

◆ 監修 陸軍大臣官房・海軍大臣官房

◆ 編纂兼発行 靖国神社

◆ 復刻 監修 檜山幸夫
中京大学教授

全十卷

『靖国神社忠魂史』

復刻にあたって

監修の
とば

檀山幸夫

中京大学教授

本書は、靖国神社が昭和八年から一〇年にかけて全五巻に分けて編纂刊行した『靖国神社忠魂史』を、ほぼ原本に近い状態で復刻したものである。

『靖国神社忠魂史』は、靖国神社が「忠魂英霊」として合祀している、嘉永六年以降上海事変までの国事に殉じた一二六、三〇七柱の祭神とその事蹟とを記録し顕彰せんとして編纂したもので、およそB5判の紙面、五、二四八頁に纏められた壮大な編纂書である。これは、歴史的にみるならば「大日本帝国」における公式に認定された国事殉難者として靖国神社に祭神として祀られた「英霊」の事蹟を、国家として記録化するという意味を持つていた。それは、いわば我が国における国家的レベルにおける最初で最後の英霊記録化の事業であり、公式の英霊顕彰記録誌の編纂事業であつたといえよう。

記述の全体構造は、総説・概説（日露戦争のみ）、本説、巻別索引と地図からなっている。このなかの総説・概説が、当該戦役・事変・事件に対する公式的な見解を示しているといえるが、内容的には当該戦役などについて概観の説明が地図や資料を駆使して記述されており、戦争や軍隊を知らない利用者にとつてもそれらの概史を把握し理解しやすいように工夫されている。本説が、祭神に関する公式的記録と死者個人の事蹟に関する記録となるが、紙媒体という物理的限界からその情報は、祭神の所属部隊号や所属官署などの

所属機関、死因（戦死・戦傷死・戦病死・公務死および不慮死など）と死没の年月日、死没地、官職等級（職名と位階勲等級など）、氏名、原籍（府県名）を、死没日乃至所属部隊や機関別又は死因別に分類整理されて纏められている。

一般的には、戦闘による戦死者は日付順に纏められており、戦闘中の負傷による戦傷死者や罹患による戦病死者などは所属部隊毎に死亡順に纏められている。このため、祭神を探すのは本説では容易ではないことから、巻末に付けられている祭神索引が必要になる。この巻別索引が、巻別祭神名簿ということになる。なお、本書には、祭神として非軍人軍属である警察官、官吏や在郷軍人など、また兵士の伝染病に感染した看護婦や、匪賊と戦い斃れた警察官の妻なども記録されていることも注目すべきことであろう。

このように『靖国神社忠魂史』は維新期から昭和七年頃までの靖国神社祭祀者が、如何なる理由で祭神となつたのかといったことを、靖国神社と陸海軍が体系的に纏めた、公式に国民に示した唯一の公開記録書といえる。その刊行は、当時全国的に起こつていた日露戦争三十周年記念事業や忠霊塔建立運動に呼応するようなものにもみえる。このような、昭和前期史という時代を象徴する「英霊顕彰」現象の一つとしてみることもできることから、この書籍そのものがその時代を語るものであり歴史的遺産的存在であるともいえる。その意味でも、この書の持つてい日本近代史における歴史的価値は大きい。勿論、この書に収録されている祭神とその事蹟記録や、ふんだんに挿入されている招魂社や戦争記念碑などの写真は、貴重な歴史資料的価値をもっている。

各巻の主な収録内容

●第一巻（上）

第一篇 維新前紀／第二篇 維新後紀／第三篇 台湾征蕃及び佐賀・熊本・萩・秋月の乱／第四篇 西南の役／第五篇 明治十五年同十七年朝鮮事変

●第一巻（下）

第六篇 明治二十七八年戦役／第七篇 北清事変／第一卷祭神名索引／「付図」 明治戊辰に於ける諸藩鎮撫の概況／維新当時諸藩分布図

●第二巻（上）

第一篇 日露戦役総説／第二篇 本巻概説／第三篇 開戦より六月中旬までの戦況／第四篇 旅順要塞の陸海協同攻略／第五篇 戦勢決定の海戦

●第二巻（下）

第六篇 満洲軍主力の北進／第七篇 遼陽附近の会戦／第二巻祭神名索引／「付図」 日露戦役作戦一覽図／日露海戦一覽図

●第三巻（上）

第八篇 本巻概説／第九篇 旅順要塞の陸海協同攻略／第十篇 聯合艦隊の残敵に対する作戦と東航敵艦隊に対する戦備の開始

●第三巻（下）

第十一篇 沙河の会戦／第十二篇 沙河の対陣／第三巻祭神名索引

●第四巻（上）

第十三篇 本巻概説／第十四篇 奉天附近の会戦

●第四巻（下）

第十五篇 満洲軍の整備／第十六篇 日本海々戦／第十七篇 自日本海々戦至休戦聯合艦隊の行動／第十八篇 樺太の占領／第十九篇 韓国軍の行動／第二十篇 内地及び占領地の守備／第二十一篇 休戦及び凱旋／第二十二篇 韓国暴徒鎮圧事件／第四巻祭神名索引

●第五巻（上）

第一篇 台湾理蕃／第二篇 大正三年乃至大正九年戦役

●第五巻（下）

第三篇 鄭家屯日支兵衝突事件／第四篇 昭和三年支那事変／第五篇 台湾霧社事件／第六篇 満洲上海事変（陸軍之部・海軍之部）／「余誌」 戦役に因める御製御歌／女性祭神殉難誌／合祀記事／第五巻祭神名索引

藏	藏	正	道	門	郎	郎	郎	郎	郎	郎	藏	郎	重	治	助	作	吉	吉	吉	吉	吉	吉	吉
九二	六六	三三	一一	二二	五五	七七	一〇	九九	九三	九七	九七	四三	四三	四三	三三	二二	八八	三三	三三	三三	三三	三三	三三
坂	坂	坂	坂	坂	坂	坂	坂	坂	坂	坂	坂	坂	坂	坂	坂	坂	坂	坂	坂	坂	坂	坂	坂
本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本
音	虎	定	佐	方	則	瀨	增	保	宇	浦	與	孫	彦	庄	榮	元	元	元	元	元	元	元	元
吉	吉	吉	吉	吉	次	平	平	平	市	太	八	八	七	七	一	次	次	次	次	次	次	次	次
八三	二九	一五	九三	八三	四九	五七	五七	一七	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇
坂	坂	坂	坂	坂	坂	坂	坂	坂	坂	坂	坂	坂	坂	坂	坂	坂	坂	坂	坂	坂	坂	坂	坂
本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本
友	龍	定	太	宇	茂	吉	勘	喜	萬	圓	留	幸	龜	義	清	延	金	仁	富	辰	末	市	
彌	馬	人	郎	志	八郎	五郎	四郎	三郎	次郎	次郎	次郎	次郎	太郎	太郎	太郎	太郎	太郎	太郎	太郎	太郎	太郎	太郎	太郎
通	直	秀	八	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三
柔	利	八	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三
三	一	二	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
五	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八
坂	坂	坂	坂	坂	坂	坂	坂	坂	坂	坂	坂	坂	坂	坂	坂	坂	坂	坂	坂	坂	坂	坂	坂
本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本
友	龍	定	太	宇	茂	吉	勘	喜	萬	圓	留	幸	龜	義	清	延	金	仁	富	辰	末	市	
彌	馬	人	郎	志	八郎	五郎	四郎	三郎	次郎	次郎	次郎	次郎	太郎	太郎	太郎	太郎	太郎	太郎	太郎	太郎	太郎	太郎	太郎
通	直	秀	八	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三
柔	利	八	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三
三	一	二	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
五	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八
坂	坂	坂	坂	坂	坂	坂	坂	坂	坂	坂	坂	坂	坂	坂	坂	坂	坂	坂	坂	坂	坂	坂	坂
本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本
友	龍	定	太	宇	茂	吉	勘	喜	萬	圓	留	幸	龜	義	清	延	金	仁	富	辰	末	市	
彌	馬	人	郎	志	八郎	五郎	四郎	三郎	次郎	次郎	次郎	次郎	太郎	太郎	太郎	太郎	太郎	太郎	太郎	太郎	太郎	太郎	太郎
通	直	秀	八	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三
柔	利	八	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三
三	一	二	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
五	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八
坂	坂	坂	坂	坂	坂	坂	坂	坂	坂	坂	坂	坂	坂	坂	坂	坂	坂	坂	坂	坂	坂	坂	坂
本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本
友	龍	定	太	宇	茂	吉	勘	喜	萬	圓	留	幸	龜	義	清	延	金	仁	富	辰	末	市	
彌	馬	人	郎	志	八郎	五郎	四郎	三郎	次郎	次郎	次郎	次郎	太郎	太郎	太郎	太郎	太郎	太郎	太郎	太郎	太郎	太郎	太郎
通	直	秀	八	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三
柔	利	八	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三
三	一	二	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
五	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八

(第一卷(上) 収録「本書刊行に際して」よりの抜粋。旧漢字を新漢字に変換。)

……而して祭神は男女の区別もなく、又階級的に何等の差別もなく祭祀せられてゐるのでありますが、世には往々靖国神社を以て軍人の殉難者を祀る神社であるかに考へてゐる者があります。之は誤解も甚しいもので、かくては一視同仁の聖徳を流し奉るものと云ふべきであります。

茲に祭神生前の官職身分等の大略を挙ぐるも、維新前には公卿・藩主・神職・僧侶・百姓・町人あり、又明治以後には陸海軍人を初として地方官・外交官・警察官・鉄道従業員・従僕・職工等があります。殊に幕末多難の秋に際し男子も及ばぬ壮烈な死を遂げた烈女節婦、その後の戦役事変に殉職した看護婦等現在四十九柱の女性祭神があることを思は、誰か聖徳の広大無辺なるを思はぬ者がありません。

▲本文見本「第一卷(下) 索引」(原寸・部分)

東京豫病院 日赤第二八救護班看護婦長 (腸管扶斯感染。三七年一〇月三〇日。東京豫病院宿舍歿。享年三四歳。本籍栃木縣上都賀郡西大芦村)		大貫 ツメ	京 東	第 五 班	明廿七年 十二月七
宇品碓泊場司令部 日赤第百救護班看護婦 (腸管扶斯感染。三八年一月一九日。廣島豫病第四分院歿。享年二〇歳。本籍北海道札幌郡後路村)		一柳 ツカ	京 東	第 九 班	明廿七年 六月三
廣島豫病院 日赤第百九救護班看護婦 (腸管扶斯感染。三八年一月二二日。廣島市博愛病院歿。享年三〇歳。本籍岡山縣御津郡鹿田村)		三宅 孝久	神 奈 川	第 十 三 班	明廿七年 六月五
新 崎			長 崎	第 十 六 班	明廿七年 六月三
湯 新			新 崎	第 十 九 班	明廿七年 九月九

▲本文見本「第五卷(下)」(原寸・部分)

鹿兒島陸病 同 鹿兒島陸病 遊撃歩四大四中 大阪臨陸病 同 大阪臨陸病 同	兵卒 野村久太郎 山口 兵卒 丸重 春之 高知 明一〇、七、一二 兵卒 前原久五郎 山口 明一〇、九、四 兵卒 秋田 五郎 山口 明一〇、九、五	薩摩高城郡川内川 同 鹿兒島郡武岡 同 薩摩國栗下村 警視局 鹿兒島郡武山	軍夫 野田 藤吉 熊本 明一〇、六、二四 軍夫 百濟 勇道 廣島 明一〇、六、二五 萩原藤次郎 福岡 明一〇、六、二〇 岩村 政修 東京 明一〇、六、二二	明一〇、六、二二 明一〇、六、二二 明一〇、六、二二 明一〇、六、二二 明一〇、六、二二 明一〇、六、二二
--	--	---	--	--

▲本文見本「第一卷(上)」(原寸・部分)

靖国神社忠魂史

全10巻

[監修] 陸軍大臣官房・海軍大臣官房 [編纂兼発行] 靖国神社 [復刻監修] 檜山幸夫 中京大学教授

●揃定価220,500円(本体210,000円) ISBN4-8433-2213-X C3321 B5判上製/函入

各巻定価

- ◆ 靖国神社忠魂史 第1巻(上)・定価29,400円(本体28,000円) ISBN4-8433-2214-8
- ◆ 靖国神社忠魂史 第1巻(下)・定価29,400円(本体28,000円) ISBN4-8433-2215-6
- ◆ 靖国神社忠魂史 第2巻(上)・定価18,900円(本体18,000円) ISBN4-8433-2216-4
- ◆ 靖国神社忠魂史 第2巻(下)・定価18,900円(本体18,000円) ISBN4-8433-2217-2
- ◆ 靖国神社忠魂史 第3巻(上)・定価16,800円(本体16,000円) ISBN4-8433-2218-0
- ◆ 靖国神社忠魂史 第3巻(下)・定価21,000円(本体20,000円) ISBN4-8433-2219-9
- ◆ 靖国神社忠魂史 第4巻(上)・定価23,100円(本体22,000円) ISBN4-8433-2220-2
- ◆ 靖国神社忠魂史 第4巻(下)・定価26,250円(本体25,000円) ISBN4-8433-2221-0
- ◆ 靖国神社忠魂史 第5巻(上)・定価21,000円(本体20,000円) ISBN4-8433-2222-9
- ◆ 靖国神社忠魂史 第5巻(下)・定価15,750円(本体15,000円) ISBN4-8433-2223-7

『靖国神社忠魂史』全五巻は、昭和8年から10年にかけて、靖国神社が陸海軍の監修を得て編纂・刊行した書。同神社に祀られている幕末動乱の嘉永6年(1853)より昭和7年(1932)第一次上海事変までの「国事に殉じた忠魂英霊」とその戦いの経緯を詳細に記録している。なお祭神は氏名のほか所属部隊、官職等級、原籍が記されており、また軍人ばかりでなく、警察官、官吏、そのほか女性などの合祀された人々も記録されている。各巻末には祭神の索引が付され、また、解説図や、戦地・兵器・艦船の写真も多く収載されており、さらに、全国各地の招魂社、戦争紀年碑、忠魂碑の写真も多数収載され、貴重な史料となっている。

本書の特色

- ★ 嘉永6年より昭和7年までの国事に殉じた**12万余柱の祭神**とその事績の記録。
- ★ B5判**5,000頁余**の壮大な編纂書。
- ★ 各巻巻末の**人名索引**は、戦没者名簿として基本史料。
- ★ **軍人軍属以外の祭神**である、警察官、官吏、在郷軍人、農漁民のほか、看護婦や警察官の妻などが記載されている。
- ★ **戦没者慰霊**の原点を示す史料。
- ★ 近代の軍事史、政治史研究の**基礎資料**。



〒101-0047
東京都千代田区内神田2-7-6
TEL .03(5296)0491
FAX.03(5296)0493
<http://www.yumani.co.jp/>
e-mail eigyou@yumani.co.jp

●特におすすめしたい方

日本近代史、軍事史、東アジア近代史、宗教史、神道史の研究者。各大学の図書館、史学科、宗教学科など。

ゆまに書房 Tel.03(5296)0491/Fax.03(5296)0493 年 月 日		※毎度ありがとうございます。お申し込みはぜひ当店へ。	
ご注文書	靖国神社忠魂史 全10巻		取扱店
	●揃定価220,500円(本体210,000円) ISBN4-8433-2213-X C3321		
お名前			
住所	TEL ()		

06.12/01.7000.H